CITROEN TOTAL ABU DHABI WORLD RALLY TEAM

PRESS RELEASE

CITROËN RACING

ツール・ド・コルスでシトロエン C3 WRC のクレイグ・ブリーンが 5 位完走

2017 年の世界ラリー選手権（WRC）第 4 戦、ツール・ド・コルスの競技最終日となる 3 日目、クレイグ・ブリーン／スコット・マーティン組は 4 位浮上を果たしましたが、その直後、総合 5 位に後退。ライバルとの差はわずかに 0.1 秒でした。また、この日再出走となったステファン・ルフェーブル／ギャビン・モロー組は完走を果たし、ブリーン／マーティン組とともにシトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチームにポイントをもたらしました。

- アジャクシオ、バスティアのエリアを走行してきたツール・ド・コルスは、日曜日にポルト・ベッキオへと向かいました。最終日に設定されたのは、ふたつの競技区間（スペシャルステージ=SS）のみ。Antisant-Poggio di Nazza（53.78km）と Porto-Vecchio Power Stage（10.42km）です。

- 総合 5 番手でこの日をスタートしたブリーン／マーティン組は、ラリー最長の SS で力走を披露。序盤ふたつの途中計測区間では素晴らしいペースを刻み、この SS で 3 番手のタイムをマークしました。その結果、総合順位でトヨタのヤリ-マティ・ラトバラをかわし 4 番手に浮上しています。

- 最終 SS の Porto-Vecchio Power Stage を前に、トップ 5 の最終順位はまったく予想のつかない状況でした。ティエリー・ヌービル（ヒュンダイ）の総合首位は明らかでしたが、後に続くダニ・ソルド（ヒュンダイ）、セバスチャン・オジエ（M スポーツ）、ブリーン、ラトバラの 4 人は 20 秒以内の僅差にひしめきあっていました。

- Porto-Vecchio Power Stage では、ブリーン／マーティン組は 3 番手タイムをマークしましたが、総合順位では 5 位に後退。惜しくも 0.1 秒差で 4 位を逃してしまいました。それでもブリーンは、パワーステージ 3 位のボーナスポイント 3 点を獲得しました。

- ラリー2 規定でこの日を再スタートしたルフェーブル／モロー組は、C3 WRC での経験をさらに重ねました。同クルーはフィニッシュを果たし、シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチームにマニュファクチャラーズ選手権ポイント 6 点をもたらしました。

- 2016 年、シトロエン・レーシング・トロフィーでタイトルを獲得し、今回のラリーに DS3 R5 で参戦したヨハン・ロッセルは、母国ラウンドで WRC2 部門のポディウムに上がりました。ロッセルは総合 10 位に食い込み、自身初となる WRC ポイントも獲得しました。同じくシトロエン・レーシングがサポートする DS3 R5 で参戦した 2016 年の FIA ジュニア WRC チャンピオン、シモーネ・テンペスティーニは WRC2 部門 4 位で完走しました。

- 次戦の WRC は、ラリーアルゼンチン。再び大西洋を越えて、4 月 27-30 日に開催されます。

CITROËN RACING COMMUNICATION
19, allée des marronniers - BP 3557 - 78035 VERSAILLES CEDEX - FRANCE - TEL. : +33 (0) 1 30 84 04 04 - FAX: 33 (0) 1 30 84 02 70
www.citroenracing.com

チームコメント

■**イブ・マトン**（シトロエン・レーシング　チーム代表）
「ツール・ド・コルスでは、シトロエン C3 WRC が素晴らしいペースを見せ、いい内容で終えることができました。残念ながらトップを走っていたクリス・ミークはリタイアしてしまい、結果につなげられませんでした。クレイグ・ブリーンには大きなプレッシャーがかかりましたが、優勝争いのできるドライバーたちと対等に戦いました。彼はポジションを維持し、ミスのないラリーをしてくれたと思います。ステファン・ルフェーブルも難しいラリーを走り切り、チームに貴重なマニュファクチャラーズ選手権ポイントをもたらしてくれました。また、WRC2 部門でポディウムに上がったヨハン・ロッセルも見事な戦いぶりだったと思います」

■**クレイグ・ブリーン**
「この日の朝もコンディションは理想的で、天気も道も素晴らしいものでした。もちろん、わずか 0.1 秒差で順位を落としてしまったことは非常に悔しいですが、こういう戦いがあるからこそ、私はラリーが大好きなのです！　パワーステージではベストを尽くしたので、後悔はありません。この週末の内容には、満足していいと思います。ひとつもミスはしませんでしたし、経験豊富なトップドライバーたちとも戦い合うことができました。これは、今後に向けての大きな励みになります」

■**ステファン・ルフェーブル**
「今日の最後の2SS を走り抜いたことで、ツール・ド・コルスのステージや、C3 WRC のさらなる経験を積むことができました。ラリーを通じて学ぶことも多く、自信を高めることにもつながりました。次戦のアルゼンチンには参戦しませんが、その後のラリーポルトガルが今から待ち切れません。昨年学んだことを活かせると思います」

世界ラリー選手権（WRC）　第 4 戦ツール・ド・コルス　最終結果

1.	ティエリー・ヌービル／ニコラス・ジルスール	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	3:22:53.4
2.	セバスチャン・オジエ／ジュリアン・イングラシア	フォード・フィエスタ WRC	+54.7
3.	ダニ・ソルド／マルク・マルティ	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+56.0
4.	ヤリ-マティ・ラトバラ／ミーカ・アンティラ	トヨタ・ヤリス WRC	+1:09.6
5.	**クレイグ・ブリーン／スコット・マーティン**	**シトロエン C3 WRC**	**+1:09.7**
6.	ヘイデン・パッドン／ジョン・ケナード	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+2:16.3
7.	アンドレアス・ミケルセン／アンデルス・イエーガー	シュコダ・ファビア R5	+8:10.7
8.	テーム・スニネン／ミッコ・マルックラ	フォード・フィエスタ R5	+9:17.0
9.	ステファン・サラザン／ジャック・ジュリアン・レヌッチ	ヒュンダイ i20 R5	+9:23.6
10.	**ヨハン・ロッセル／ブノワ・フルクラン**	**シトロエン DS5 R5**	**+12:57.1**
50.	**ステファン・ルフェーブル／ギャビン・モロー**	**シトロエン C3 WRC**	**+1:11:57.3**
R.	**クリス・ミーク／ポール・ナゲル**	**シトロエン C3 WRC**	**メカニカル**

FIA チームズ スタンディングス

1.	M スポーツ・ワールドラリーチーム	129
2.	ヒュンダイ・モータースポーツ	105
3.	トヨタ・ガズーレーシング WRT	79
4.	**シトロエン・トタル・アブダビ WRT**	**71**